

ちよこっと プレゼント

1

「にきび」に！
「肌あれ」に！
「ふき取り」に

「ひげそり」
あとに！
「あせも」の
予防に！

オードムーグ 160ml
提供：細川薬局

5名様

2

タンポポコーヒー&ティー
各10本入
提供：やまびこ

2名様

3

アルピオン
スキンコンディショナー
サンプル3本セット
提供：吉田薬局

5名様

4

マグマオンセン 10コ入
提供：ほてい堂薬局

3名様

5

お試用
クレイエステシャンプー 65ml
クレイエステパック 40g
提供：グランブルー

5名様

6

エコバッグ
提供：快眠・ギフトショップみぞくち

5名様

7

有田焼焼酎カップ
どれか1個
提供：松本茶舗

4名様

8

編み物キット
リボンソーシュセット
提供：ヤネニ

各5名様

9

フラワーギフト券1,000円分
提供：田島生花店

3名様

10

十和田シティホテル
(しもやま旅館)ランチ券ペアで
提供：十和田シティホテル

3組様

11

鶏肉の唐揚げ
店内でお召し上がり下さい
提供：ハルビン飯店

10名様

※ご応募はお一人様1枚といたします。ご容赦下さい。 ※写真はイメージです。プレゼント商品と多少異なる場合もございます。



VOIちよこっと
プレゼント抽選会

2月3日(日) 15:00 中央商店街恒例の「まける日」の抽選会場において関係者立ち合いの中行われました。約140枚の応募の中から34名の方々に当選通知をさせていただきました。貴重なご意見と励ましのメッセージありがとうございました。

編集後記

- ★どの店も興味深い品や楽しい人ばかり。一店集中記事が多店一気記事が迷った。(E)
- ☆走りました！歩きました！頑張りました！パーマンになりたかったなあ。(M)
- ★ようやく出来た～♪早く編集に慣れて、もっとスムーズに出来るといいなあ。(N)
- ☆春号らしいワクワクする内容です！読者のみなさんにも伝わるといいなあ～♪(J)
- ★ここで一句！ちよこっとの取材通して十和田知り歴史の深みにズボットハマる。(C)
- ☆春といえば食欲の春？フリーマガジン片手に食べ歩いてみようかな。(A)

スタッフ募集！ 商店街を応援したいという方

働く女性ばかりのちよこっと編集部です。お手伝いできる女性をさがしています！おハガキください。こちらから詳細送ります。

ちよこっと アンケート

2008. Vol. 2

①この本はどちらで手に入れましたか？

- 中央商店街(店名) ()
コンビニ() 公共施設()
銀行() 病院()
友人・知人() その他()

②今月号で良いと思った記事やおもしろいと思った記事やページを左のCONTENTSよりページ番号でお願いいたします(複数可)

()

③改善の必要な記事や内容がありましたらお願いいたします

()

④今後紙面づくりの参考にさせていただきますのご意見ご感想がありましたらお願いいたします

()

CONTENTS

2 もっと十和田を好きになる

4 なにかを始める **春**

6 **新**しいスタート

8 毎日を **健**やかに

10 春の陽気に誘われて **動**

12 ミュージシャン 桜田まこと

14 ちょこっとグルメ&ランチ

16 稲生町の働きマン

快眠案内人 溝口奈美子
スタイリスト 金見聖子

18 中央商店街 MAP

20 ちょこっと探訪

21 春のイベントピックアップ

22 ちょこっとプレゼント

22 編集後記

STAFF

★ちょこっと編集部(順不同)

Emiko Matsumoto
Mihoko Maeda
Namiko Mizoguchi

Junko Seto
Chiemi Suda
Akiko Maekawara

★資料・写真提供協力

和田光弘・南部裂織保存会
㈱十和田市観光協会
稲生川土地改良区

十和田市現代美術館
十和田ボランティアガイドの会
エジソンパソコン病院

発行日 平成20年2月29日

発行 十和田市中央商店街振興組合

〒034-0011 十和田市稲生町16-42

TEL・FAX 0176 (25) 6885

U R L <http://towadachuo.com/>

E-mail towadachuo@mail.goo.ne.jp

印刷 (株)岩間印刷

〒034-0011 十和田市稲生町15-14

TEL 0176 (22) 0838

E-mail iwama@hi-net.ne.jp

表紙



写真撮影：和田光弘

制作者：南部裂織保存会

<http://www.sakiori.jp//presentation.html>

「暮らしに創る喜びを手仕事の温もりをいつまでも」
2007年9月十和田市民文化センターで開催された『南部裂織 帯干本展』に出展された作品。貴重な布を有効に再生するために生み出された織物で、汚れたり、擦り切れたりした古い布地をもう一度織り直すことによって新しい布地として蘇らせる技術は青森の風土が生み出した一品で現代に息づく伝統工芸です。

次号は6月30日発行予定です

この事業は、十和田市、(財)青森県市町村振興協会の助成を受けて実施しています